

平成25年度 小木小学校

図書だより

H25. 12. 18

人権週間に関わる読み聞かせ（パート2）

前回の図書だよりでは、「わたしのいもうと」の読み聞かせ後の低学年の感想を紹介しました。今回は、高学年の感想を紹介します。

★最初は、いじめられている女の子のことだけで胸が痛くなりました。でも、妹をだいたり、口にスープを流してあげたりしているお母さんにも胸が痛くなりました。テレビで自殺した子が放送される中、その子は、ひっそりと死んでしまったんだ…と思うといじめはとても怖いです。（4年 四方 帆奈美）



★この本に出てくる妹は、かわいそうだと思います。友だちにいじめられて勉強も遊ぶこともできなかったし、家にばかりこもっていたのでかわいそうだと思います。死ぬ時一人でした。すごくしたいこともあったのに、折り紙しかできなかったのもとてもかわいそうでした。（5年 半田 龍星）

★「わたしのいもうと」という本を読んでもらいました。これは、「いじめ」に関する本で、転校してきた子にいじめをして、その子は、家に閉じこもってしまいます。私は、いじめというものがどうしておこるんだろうと思いました。してはいけないと分かっているのに、してしまうものなのかとも思います。その子は死んでしまい、いじめは命までもうばってしまうものなんだと思いました。この本は、こんなことを考えさせられる本でした。この本を読んで、いじめはいけないということを改めて思いました。（6年 上野 真愛）



クリスマスバージョンの掲示

図書ボランティアの西谷内さんが、昼休みのお話会でクリスマスにちなんだ読み聞かせをして下さいました。その後、子どもたちに自作の雪だるまやベルの形の用紙に感想を書かせて、すてきな掲示物を作して下さいました。

2階家庭室に掲示してありますので、機会があったら是非ご覧ください。